てくてく情報

2021年2月号　【古河公方公園】
●のんびりてくてく、お散歩してみませんか

●寒い中にも少しずつ春の足音・・・

こよみの上では春となる２月。さっぱりと静かな公園の中に、鳥たちや植物など、自然の息づかいが感じられます。未だコロナの収束が見えませんが、公園散策でリフレッシュしてください。

●さっぱりとした公方様の森を散策

■葉が落ちてしてスッキリとした公方様の森から見る周囲の景色は、また一味違います。笹などの下草も刈り取り、落ち葉も片付けてさらにさっぱりとしました。お日様が当たるようになった土の中では、春に向けて植物たちがスタンバイ中です。

■見通しの良い森では、キツツキの仲間「コゲラ」など、鳥たちの姿もよく見かけます。鳴き声や木をつつく音など、耳を傾けてみるとすぐに見つかるかもしれませんよ。

●個性色々、樹木の冬芽を見てみましょう

■冬の木々も春に向けて冬芽（とうが）を準備中です。冬芽にも種類があり、枝から直接葉が出てくる「裸芽（らが）」と、芽鱗（がりん）という殻のようなものに覆われた「鱗芽（りんが）」があります。

①トチノキ・・・芽鱗が樹液に覆われ、乾燥を防ぐ。
②ユリノキ・・・アヒルのくちばしの様な形の芽鱗。
③コブシ・・・・あったかそうな毛がフワフワの芽鱗。
④アカシデ・・・芽の数が多く、大きいのが雄花芽、小さめで先が尖ったものは葉芽、もしくは葉と雌花の混芽。
⑤イロハモミジ・・・左右で２つ対に、一定の間隔を開けて縦横角度を変えて規則的に付く。
⑥ネコヤナギ・・・茶色の芽鱗の中からフワフワの花芽。

●早春のお楽しみ

■⑧御所の梅林には、紅白のウメが咲き始めています。公方公園の梅は、平成 21 年頃から全国的に被害が広がった「ウメ輪紋病ウイルス」の発生による伐採を経て、平成 30 年から再植樹を行いました。若木のため、迫力、見ごたえはまだまだこれからですが、早春の公園を彩っています。

●カワセミ、いますよ！

■色鮮やかで美しいカワセミ。留鳥なので１年中見ることができますよ。

写真提供：小川正さん

●寒さのピークは過ぎたようですが、春が待ち遠しいですね。てくてく情報、次号もお楽しみに！

【発行】(一財) 古河市地域振興公社 古河公方公園（古河総合公園）　〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1　電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。　古河公方公園　検索